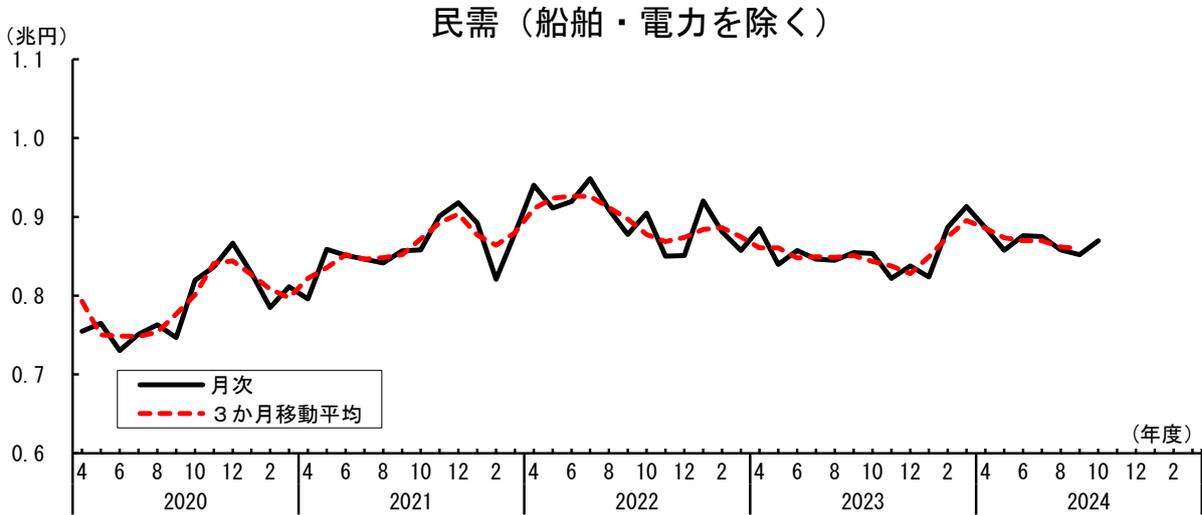


機械受注統計調査(令和6(2024)年10月実績) 結果の概要

—機械受注は、持ち直しの動きに足踏みがみられる— (基調判断据置き)

- 民間設備投資の先行指数である「船舶・電力を除く民需」は、10月は前月と比較して2.1%増加し、4か月ぶりの増加となった。
- この要因として、内訳をみると、非製造業(船舶・電力除く)が1.2%減となった一方、製造業が12.5%増となったことが挙げられる。
- こうしたことから、機械受注は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。



対前月(期)比

(単位:%)

需要者	期・月	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)				2024年 (令和6年)			
	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月 実績	7-9月 実績	10-12月 見通し	7月 実績	8月 実績	9月 実績	10月 実績	
受注総額	0.7	6.3	7.4	△4.7	6.0	0.0	△3.0	△2.9	21.1	
民需	△6.2	△1.3	16.4	△15.8	15.0	△4.1	△4.2	1.1	25.4	
“(船舶・電力を除く)”	△1.3	4.4	△0.1	△1.3	5.7	△0.1	△1.9	△0.7	2.1	
製造業	△0.0	0.9	2.8	△7.2	0.9	△5.7	△2.5	△0.0	12.5	
非製造業(除船・電)	1.1	6.8	△3.7	1.4	12.2	7.5	△7.7	1.5	△1.2	
官公需	△0.1	55.1	△33.6	30.7	27.0	△5.6	33.1	13.6	49.9	
外需	4.6	△4.7	21.7	△2.1	△5.0	8.0	△15.3	△10.3	7.9	
代理店	4.9	3.2	△7.3	8.0	△0.4	15.3	△8.7	4.9	△4.2	
民需(船舶電力を除く) 3か月移動平均	-	-	-	-	-	0.0	△0.9	△0.2	-	

(備考) 1. 季節調整値による。季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. △印は減少を示す。
3. 見通しは2024年9月末時点の調査。